

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

空挺作戦



水陸両用作戦



統合防空ミサイル防衛訓練



統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



沖縄県内で実施を検討している訓練内容

【統合電磁波作戦訓練】

統合電磁波作戦訓練は、四国沖訓練海空域等で実施される共同統合対艦戦闘訓練及び水陸両用作戦訓練に連携して行われます。

本訓練では、陸上自衛隊の電子戦部隊が、陸上自衛隊知念分屯地、陸上自衛隊宮古島駐屯地及び陸上自衛隊与那国駐屯地において、電波状況の確認等を実施します（早朝・夜間や土日を除く。）。

また、本訓練では実際に電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

○期 間：令和7年10月21日（火）～10月29日（水）

○参加部隊：陸上自衛隊知念分屯地：約15名（所在部隊）
 （車両（NEWSを含む。）×3両）
 陸上自衛隊宮古島駐屯地：約15名（所在部隊）
 （車両（NEWSを含む。）×3両）
 陸上自衛隊与那国駐屯地：約15名（所在部隊）
 （車両（NEWSを含む。）×3両）

展開する主要装備品

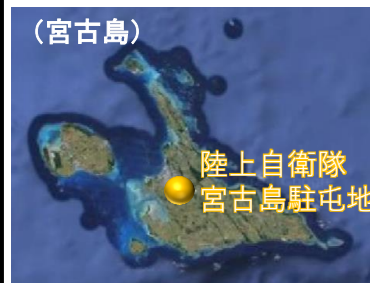
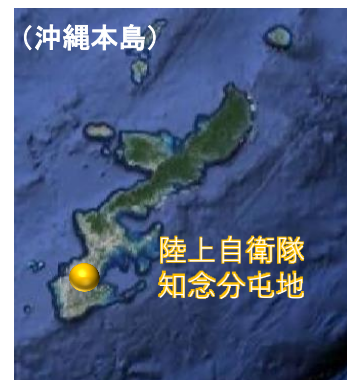


陸上自衛隊 NEWS※



※ NEWS: Network Electric warfare System
 （ネットワーク電子戦システム）
 電波の収集等を実施

訓練予定場所



沖縄県内で実施を検討している訓練内容

【統合通信訓練】

統合通信訓練は、通信回線を構成する訓練です。

本訓練のため、陸上自衛隊及び海上自衛隊の通信部隊が石垣島、宮古島及び与那国島に展開し、通信回線を構成いたします。

○期 間：令和7年10月24日（金）～10月31日（金）※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

○参加部隊：陸上自衛隊 西部方面システム通信群 約30名（車両：12両程度）
海上自衛隊 システム通信隊群 約15名（車両：5両程度）

○実施場所：宮古島駐屯地、宮古島分屯基地、石垣駐屯地、与那国駐屯地、伊野田漁港、前勢岳展望台、東崎展望台駐車場、立神岩展望台駐車場、アヤマハビル館駐車場

訓練予定場所

（沖縄県）鹿児島港



石垣島、宮古島及び与那国島への移動については、通信器材、車両等はPFI船（はくおう）及び貨物船を使用、人員については民間航空機を使用

訓練イメージ



【OH多重通信装置】



【衛星通信装置】



与那国島で実施を検討している訓練内容 【統合通信訓練】

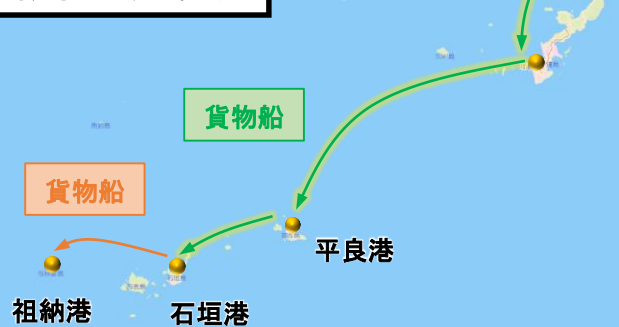
統合通信訓練は、通信回線を構成する訓練です。

本訓練のため、陸上自衛隊の通信部隊が与那国島に展開し、通信回線を構成いたします。

- 期 間：令和7年10月24日（金）～10月28日（火） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
- 参加部隊：陸上自衛隊 西部方面システム通信群 約10名（車両：5両程度）
- 実施場所：与那国駐屯地、東崎展望台駐車場、立神岩展望台駐車場、アヤミハビル館駐車場

訓練予定場所（沖縄県）

鹿児島県



与那国島への移動については、通信器材、車両等は貨物船舶を使用
人員については民間航空機を使用

訓練イメージ



陸上自衛隊は上記4ヵ所を使用

【OH多重通信装置】



与那国町で実施を検討している訓練内容 【災害対処訓練】

自衛隊及び米軍が共同して災害対処に係る訓練を実施します。
その際、与那国駐屯地等を使用し、航空機（陸自CH-47及び米CH-53）を使用した患者後送及び燃料給油訓練を検討しています。

【期 間】 令和7年10月26日（日）（準備と予備等も含めると約4日間）

【参加部隊】 陸上自衛隊：西部方面隊第15旅団（主力は与那国沿岸監視隊、航空機はCH-47×1）

米 軍：合計約10名（参加アセット：CH-53×1～2）

訓練予定場所及びイメージ

【自衛隊CH-47】



【米CH-53】

